

## 令和6年度佐賀大学戦略的PSプロジェクト報告書

令和 7年 3月 31日

国際交流推進センター長 殿

申請者 (代表申請者)

部 局 名 全学教育機構職 名 全学教育機構長氏 名 鯉川 雅之

下記のとおり報告します。

1. 大学間交流協定校 (国・地域)	Slippery Rock University (アメリカ)		
2. 種別	A国際共同研究型		B国際共同教育型
3. 実施代表者	Brendan Van Deusen	4. 所属・職名	全学教育機構・准教授
5. 連携部局			
6. 国際共同 (教育) 研究 課題	教育/研究テーマ: <u>スリッパリーロック大学との短期留学プログラム派遣・受入事業</u>		
7. 令和6年度の実施内容			
8. 参加者数 ※参加者名簿も併せてご 記入ください	参加者数 <u>42名</u> 内、教員・研究者数 <u>12名</u> 、学生数 <u>30名</u>		
9. 事業を通じて得られた 成果及び今後の計画  ※事業実施の様子につい て、写真を3枚程度提供 ください	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 9日間のプログラムで5人の学生をSRUに引率。Van Deusen と芸術学部富田准教授がYukako Ishimaru教授、Dan Bauer学部長、Tim Oldakowski学科長、Nick Katsiadass先生、国際交流センターJenny Kawata課長、芸術学科教員のSean Macmillan学科長、Doris Short准教授、Barbara Westman教授、とのコネクションを構築した</li> <li>2. 5月のSRU佐賀訪問の準備した</li> <li>3. 5月に美術教員と学生とのコラボレーションを開始する計画を立てた <ol style="list-style-type: none"> <li>a. SRUの学生3名が大学美術館に作品を展示</li> </ol> </li> </ol>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>b. 芸術学部生が作品の設置・撤去を手伝う</li> <li>c. 初日に学生と教員を対象としたギャラリートークを開催</li> <li>d. SRUの教員が美術学生を対象としたゲスト講義を行う</li> </ul> <p>4. 2025年9月にSRUで合同展示会を開催する計画を立てた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. SRUと佐大生と一緒に作品を展示する予定</li> <li>b. ギャラリートークを開催</li> <li>c. 富田がキュレーションを行う</li> <li>d. 富田が芸術学部生を対象としたゲスト講義を行う</li> </ul> <p>5. 2026年5月に佐賀大学で合同展示会を開催する計画を立てた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. SRUと佐大生と一緒に作品を展示</li> <li>b. ギャラリートークを開催</li> <li>c. SRUのWestman教授がキュレーションを行う</li> <li>d. Westman教員が芸術学部生を対象としたゲスト講義を行う</li> </ul> <p>6. 合同交流参加認定証の発案した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 両学部長・教養教育センター長がサイン</li> <li>b. 短期、conversation partner、長期交流の3段階の認定制度を作り、参加を促進する</li> </ul> <p>7. 2025年9月 Overseas Practicum（短期派遣プログラム）の期間を16日間に延長する計画を立てた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. JASSOの助成金申請のためのテストランとする</li> </ul> <p>8. 3月の短期留学のため、佐大生がLangXのAIスピーキングを使用した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 学生が6セッションを終了。5回は出発前、1回は帰国後。</li> <li>b. 5人中3人がスピーキングに向上が判定された</li> </ul>
--	--



11. 他の外部資金等への申請状況	R7年度にJASSOへの申請をする予定
12. 実施者アンケート	
<p>本事業の満足度（5（非常に良い）～1（非常に悪い））：</p> <p>支援経費は適切であったか（5（非常に適切であった）～1（非常に適切でなかった））：</p> <p>次年度以降も本事業の実施を希望するか：希望する・希望しない</p> <p>そのほかコメント：</p>	

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

※写真は学内外へ発信する広報に活用するため、映っている方々からの使用許諾済みのものをお送りください。また、写真データ（jpg または png）の送付をお願いいたします。（Word 貼付けとは別に）



富田と SRU 芸術学部先生方との打ち合わせ (Theresa Antonellis, Yukako Ishimaru, Barbara Westman, & Sean Macmillan)



閉会式



SRU 美術館への訪問



SRU 美術館への訪問 (Yukako Ishimaru & Theresa Antonellis)



SRU のキャンパス



日本語の授業での交流